

山行報告

山行報告 2026年1月25日(日) 交流部主催・新春の集い 報告者 佐々木

コース	山辺の道・三輪山(積雪のため中止)・福神堂(宴会)	山行名	例会
ルート	巻向～山辺の道～檜原～景行～崇神～Trail Center～狭井～大神～福神堂		
山行日	2026年1月25日(日)	天候	晴れ 寒波襲来
参加者	男性:CL:佐々木、小川、中田、若林、竹原(順)、田中(正)、土岐、永井、木田、川田(弘)、宮内、小泉、松嶋、中村、魚谷、上野(眞)、葛城、西川 女性:Sub:阪本、竹原(絹)、玉置、原田、高橋、仲野、川田(眞)、森田、米田、高山、山本、岡本、山内、田中(み)、桑原、上野(克)、田中(深)、木南、矢放、手島、北條、和田 m.18 f.22 total 40 avg. 66.1才		
ルート概略	巻向駅 8:10 8:45 檜原神社 10:40 崇神天皇陵 11:20 天理市 Trail Center 11:45 檜原神社 12:15 狭井神社 12:40 大神神社 13:00 福神堂 16:00 解散		

前日に寒波が襲来、JR巻向駅に降り立ちじっとしていると身体が震えるほど、普段から鍛錬に余念のない、平均年齢66.1才のアルピニスト40名にとってもこれは過酷。晴天のもと、長蛇の列となって土蔵を備える立派な屋敷群を羨ましく眺めながら、7世紀初めに造られた官道「山辺の道」を踏みしめていく。「三輪山(467.1m)」は積雪のため、昨日は今冬初めての登拝禁止、残念ながら今日もダメ。裸足で頂上の磐座(いわくら)まで往復する信仰心の篤い信者が絶えない聖なる山は、信仰心の薄い者には容易に登頂を許さない。急遽予定を変更し北上、神社、古社寺、古墳、万葉歌碑などが並ぶ古代ロマンの道を堪能しながら足を進める。道沿いは自然豊か、カキ、柑橘類の果樹園が続き、蠟梅、山茶花が満開。路傍に次々と現れる無人・有人の野菜・果物販売所、大福もち、ほうれんそう、銀杏、ミカン、柚子、すだち、ニンニク、大根等々、最近の高物価に苦しめられている庶民から、思わず「ヤスーイ！」の歓声。100円の値札は魅力的、手持ちの100円硬貨が足らず悔やむ面々、お店をいつまでも離れない連中が、土岐交流部長に追い立てられ、後ろ髪を引かれる想いで離れていく。北條さんが「運動器具が備えられた**Training Center**」と笑って教えてくれた「天理市**Trail Center**」でU-turn。「山辺の道」を再度辿り大神神社まで歩くと、適度な距離のハイキングとなった。仲野さんの協力で崇神天皇陵、大神神社で記念撮影。13:00に「三輪そうめんと和食」が売りの「福神堂」2階の宴会場へ。広い和室が山仲間できっしりいっぱい、品数の多い彩り豊かな料理を前にして、ビール、酒、ソフトドリンクの追加注文が相次ぐ。賑やかな山談義が果てしなく続き、3時間がアツと言う間に過ぎていく。認知症気味CLのフォローで痩せる思いの阪本SL、臨機応変に指示を出していただいた土岐部長、昨年集いの経験を活かしてくれた永井さん、寒さをものともせず陽気に歩いていただいた皆さんのご協力に感謝。新春の里歩きを楽しみ、評判の料理を賞味しながらの語らいを通じて、今年の山行への意欲を一層かきたてられたものと確信しています。 不尽



感想文

寒い冬空の中、40人のメンバーが電車の車両を占領するところから新春ハイキングが始まりました。巻向駅で下り、山辺の道を三輪山めぐして歩きました。道ばたにいくつもある**無人販売所**の安い野菜や果物に心惹かれながら檜原神社に到着したところで雪？凍結？のため三輪山に登れないことがわかり、行燈山古墳（崇神天皇陵）まで往復することになりました。三輪山に登れなかったのは残念でしたが、冬枯れの山辺の道を快適にハイキングでき、また古墳も見学できて大満足でした。新年会も大変盛り上がり、朝からしゃべりっぱなしの一日でした。たくさんの会員が交流を深めることができるとてもよかったです。企画してくださった交流部の皆様、ありがとうございました。（原田）

大神神社御神体三輪山が悪天候のため入山叶わなかったため、CL、SLの方々が機転をきかしていただき、山辺の道ピストンハイクとなりました。最高気温5℃にも満たない中でのハイキングは登山と違いカラダが中々暖まらず厳しいコンディションでの道行ではありましたが、道中**無人野菜売り場**が何ヶ所もありお買い物を楽しめました。私も売値の安さ（1パック ¥100が基本！）に釣られて、ミカンとハウレンソウを買ってしまいました。有人店舗もありそこで買った1パック ¥300のミカンと食べ比べましたが味は遜色なかったです。ハウレンソウは帰宅後おひたしでいただきましたが、味が濃厚で家内にも喜ばれました。さて、ハイキング後のお楽しみ、新春の宴は大いに盛り上がり山行ではご一緒出来ていなかった方々と親交を深めるいい機会となりました。宴会で振る舞われたのは三輪の地酒「三諸杉（ミムロスギ）」。味のバランスが取れており大層美味かった。調べると、それも納得。当地は酒造り発祥の地と言われており大神神社は全国の醸造家にとっての聖地。今西酒造さんはその三輪に現存する唯一の酒蔵で創業から360年以上の歴史を背負って醸造されておられます。帰路三輪駅前の酒屋さんでミニボトルを買いました。今それをちびちびやりながら記憶の断片をつなぎ合わせてこの文章を綴っています。（魚谷）



巻向駅に到着すると雪がちらほら舞い、身の引き締まる寒さ。2週間前の雪山登山では汗だくになったため今回は少し薄着で臨みましたが、それが裏目に出て歩かないと震えるほどの寒さでした。今回の楽しみは、神の降臨する山として古くから信仰を集める三輪山の登拝と新年会の宴会。残念ながら三輪山登拝は前日の降雪の影響で中止となりましたが、気持ちを切り替えて新年会へ。冷え切った体にはいつものビールでは寒く、2杯目からは熱燗がぴったり。体も心もじんわり温まり自然と笑顔が広がり、和やかな雰囲気の中、会話が弾み終始にぎやかで楽しい宴でした。今回の行事の準備・運営にご尽力いただいた皆様、本当にありがとうございました。（小泉）

